

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療総合学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	リハビリテーション概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	後期	教室名	406
担当教員	高田 秀志	実務経験と その関連資格	理学療法士として病院で勤務			
《授業科目における学習内容》						
「リハビリテーションの概念や障害の階層性」「各機能障害の病態や評価法」などについての基礎を学び、リハビリテーションの全体像と展開を構造的に学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 授業内課題 2. 期末テスト 3. 出席・平常点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
公認スポーツ指導者養成テキスト						
《授業外における学習方法》						
次回の授業内容を告知するため、事前に教科書内容の確認をとること。						
《履修に当たっての留意点》						
本科目で履修する内容について、学問的側面のみならず、現場での具体的な活用法を常に考察しながら理解を深める努力をすること。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションについて理解し、説明できるようになる。	教科書	当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの定義および理念を理解し、対象者や障害に対するリハビリテーション医学の対応について学ぶ			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	生涯の階層性を説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	ICIDHやICFなど、障害の階層性とそれをもとにしたアプローチについて学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの流れについて理解する。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	評価から治療までの流れについて学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	患者さんとの関わり方や情報収集の仕方について理解する	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	評価の進め方、医療面接と情報収集について学ぶ			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢・形態測定、感覚検査、痛みの評価について理解し、説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習	
		各コマにおける授業予定	姿勢・形態測定、感覚検査、痛みの評価について学び、理解する。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	反射、筋緊張検査について理解し、説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	反射、筋緊張検査について学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	関節の構造・病態・可動域計測について理解し、説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	関節の構造・病態・可動域計測について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	筋の構造・病態・筋力検査について理解し、説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	筋の構造・病態・筋力検査について学ぶ。		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	姿勢バランス、協調性検査について理解し、説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	姿勢バランス、協調性検査について学ぶ。		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	持久力検査、運動発達について理解し、説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	持久力検査、運動発達について学ぶ。		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	意識障害、脳神経、高次脳機能、摂食、嚥下の評価について理解し、説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	意識障害、脳神経、高次脳機能、摂食、嚥下の評価について学ぶ。		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	気分、思考、意欲、自己効力感の評価について理解し、その評価方法を説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	気分、思考、意欲、自己効力感の評価について学ぶ。		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	ADLとQOLについて理解し、説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	ADLとQOLについて学ぶ。		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	動作観察・分析について理解し、説明できるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習
		各コマにおける授業予定	動作観察・分析について学ぶ。		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション関連職種の仕事内容について理解した上で説明ができるようになる。	教科書	前回範囲の復習と、当該範囲の事前学習 +R56:U59
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション関連職種の仕事内容について学ぶ。		